



洞爺湖の美しい自然を次の世代に

profile

昭和48年2月2日生まれ。趣味が仕事というほどのアウトドア好き。ホッとする瞬間は子供の成長の姿を見ることが。洞第5在住。45歳。

Spotlight

スポットライト



環境省自然環境局長賞を受賞

小川裕司さん

「次」の世代にも自分が見ているような景色を見せるために、今後もきれいな洞爺湖の自然を保つ活動をしていきたい」

洞爺湖の自然について語るのは、11月27日に洞爺湖温泉支所で行われた環境省自然環境局長賞を受賞した小川裕司さん。自然公園指導員として10年間、主に洞爺湖や中島で清掃や保護、保全の活動をしてきました。

新潟県出身で高校を卒業

後、南イリノイ大学の日本校に進学、さらに、アメリカのコロラドの大学へ進み、「草原生態学」を学びました。その後、モンタナ州で日本人が経営するガイドの仕事を経て日本に帰国し、サラリーマンやスキー場の仕事など、さまざまな職種を経験してきました。

このような経験の中で、スキーやスキーなどの自然に関わる仕事をしたいという思いが強くなり、モンタナ州でガ

イドの仕事をしていた時の日本人経営者の「やりたいことはやれ。やる場所がないなら作れ」と言われた言葉が後押しとなり、個人でガイドの仕事をしていくことを決心しました。

2002年ごろ洞爺湖町で自然体験や案内をしてくれる人を探しているとの声を聞き、それを機に、洞爺ガイドセンターを設立。現在、スキー体験や洞爺湖の自然のガイドを中心に活動しています。

「17年間活動していても、洞爺湖の自然の美しさに圧倒されます。たくさんの方の地域の人に助けられてきたからこそ、ここまでやってこれました」と洞爺湖の自然と地域の人に支えてきてもらった感謝の気持ちから、長年自然公園指導員を務めてきました。

「洞爺湖の周りを歩く人を増やしたい。交流や滞留の場として洞爺湖を活用していきたい、遊びのメニューを増やしていきたい」と目を輝かせて話します。

東奔西走

正月を実家で過ごし、家や外で暴飲暴食を繰り返し、健康面が心配される新年の始まりとなりました。健康第一で頑張っていきたいと思っています。(C.K)  
明けの大きなイベントである、成人式が行われ、私にとって最後の新成人への取材となりました。彼らを見ると、あらためて自分の人生をいろいろ考えてしまいます。(H.O)

今月のワンショット



洞爺駅前広場イルミネーション



2018年は北海道150年  
Hokkaido's 150th Anniversary

